

1 はじめに

私は、計算力向上や漢字の定着のためにはノートをしていねいに書き、1つ1つの問題にしていねいに取り組んでいくことが最も有効な手段だと感じています。数をこなすことも大事な要素であると思いますが、ノートを「ぐちゃぐちゃ」に書き、適当に問題に取り組んでいては力がついてこないと思います。

以前に4年生を担当していたとき、ノート作りの指導に苦労しました。当時は「らくらくノート」は使用しておらず、5ミリ方眼ノートを使用していました。「ていねいにノートを書こう。」と声をかけたり、実際に私自身が見本を書いて配布したこともありましたが、なかなか見やすく分かりやすいノート作りを定着させることができませんでした。

ノート作りの基本を定着させたいという思いから「らくらくノート」の採用に至りました。

2 4年生の実態

4年生になると、計算が複雑になってきたり、わり算の筆算のような、ノートに整理して書きにくい問題が出てきたりするようになります。また、面積を求める問題のようにノートに図形を描いて考えていくような問題も出てきます。このような学習を進め、理解を深めていくためには、整理されて見やすいノー

トを作ることが必要不可欠になってきます。

それに反して、字が乱れてくる子や定規を使って線を引かない子、あわてて宿題を済ませようと適当にしてくる子が増えてきます。実際に保護者の方からは「テレビを見ながら宿題をしている。」「畳に寝転がって勉強をしている。」「ゲームばかりしていて、宿題は寝る前にあわててしている。」など、様々な声が聞かれました。このような子どもの実態をしっかりとらえ、子どもの実態に応じた指導や支援をしていくことが必要になってくると思います。

3 指導の実際

どのような場面で「らくらくノート」を利用しようかと考えました。基本的に授業中には5ミリ方眼ノート、宿題では「らくらくノート」を利用することにしましたが、学年初めや、単元初めのノート作りの指導の段階で授業中に「らくらくノート」を利用することにしました。

学年初めの指導では、表紙裏の「計算のノートづくりのポイント」を使い、計算と計算の間をあけて書くことや、途中式を残すことなどノート作りの基本を徹底的に指導しました。

単元の初めの指導では、子どもたちがノートの書き方をイメージしやすいように、「らくらくノート」の最初の1行(3問程度)だけを使い、ノートの書き方を指導しました。



4 「らくらくノート」の利点

- (1) 表紙の裏に、「計算のノートづくりのポイント」が掲載されていたり、その隣に「らくらくノートの使い方」を細かくていねいに書いてあるので、子どもが目で見てもよくわかり指導がいきとどきやすい。
- (2) 最初の問題がなぞり書きの形になっていて、子どもたちが練習問題をするときのお手本になっている。
- (3) すべての問題に問題番号が記載されているので、すぐに問題にとりかかることができ時間を効率的に使うことができる。また、問題を解くことだけに集中することができる。
- (4) 問題と問題の間がちょうどよい間隔でとられているので、とても見やすく整理されたノートに仕上がる。
- (5) ポチやタマのふきだしコメントが、計算を解いていくためのヒントになって

いたり計算ミスが減らしていくうえにおいての大切なポイントになったりしているので、実際に問題を解いていくときだけでなく、見直しをするときにも、とても有効である。

- (6) 計算の問題だけでなく、表やグラフの問題でも「らくらくノート」を使用することができるので、ドリルに書き込む必要がなく、計算ドリルをくり返し使うことができる。
- (7) ノートの後半部分に自由ページがついているので、くり返し学習や計算練習に使うことができる。
- (8) 最終のページに「勉強の記録」がついているので、子どもが達成感を感じることができる。

このように、「らくらくノート」には子どもたちにとっての利点が本当にたくさんあります。

「らくらくノート」を使用して整理されたノートが出来上がることにより、今までノートを整理することが苦手だった子ども、『自分もやったらできるんだ』という気持ちになってきます。このような気持ちを持ち自信が出てくると、算数だけでなくほかの教科の学習でもノートづくりを意識するようになってきます。

また、「らくらくノート」を使用し、計算ミスが減りノートづくりの成果が見え始めると、子どもたちの勉強に対する意欲が高まってきます。

私は、子どもたちに自信を持たせる事や子どもたちの意欲を引き出すことが学力を伸ばすうえで大切な要素になると考えているので、

「らくらくノート」を使用して、子どもたちに自信をつけさせ意欲を引き出していくことは、学力を伸ばしていくうえで本当に有効な手段だと思います。

さらに、「らくらくノート」には、「ノートが整理されているので丸付けをしやすい」「子どものつまずきや到達度が一目見てわかる」「ノート作りの指導にかかる時間が少なくてすむ」など、私たち教師にも利点があります。

「らくらくノート」は、使い方次第で子どもたちにも私たち教師にもたくさんの利点をもたらしてくれるノートだと感じています。

5 ノートづくりの重要性

新学習指導要領でも、表現力や思考力の向上という場面でノートづくりの重要性が求められているように思います。ノートづくりには「自分の考えを整理する」「その日の授業で学習したことをふりかえる」など、学力を高めていくための必要な要素がたくさん含まれています。

中学校や高校に行っても見やすいノートづくりは必要になってきます。定期テストや入学試験の前には必ずと言っていいほど自分のノートを頼りに学習するものです。しかし、中学生や高校生になったからといって急に整理されたノートを作れるかといったら、決してそうではありません。その為には、小学生のうちにもこのような力をつけておくことが必要になってきます。

「らくらくノート」はこのような力をつけるために有効な手段の1つです。自分が見てもわかり、ほかの誰が見てもわかるノートづくりをするための手助けをしてくれるノート

だと思います。

6 「らくらくノート」を使用して

2学期に入り、子どもたちのノートに変化が見られるようになってきました。今までは何も考えずに、ただ書かれているだけのノートでしたが、書く位置や見やすさを意識したノートに変わってきました。また、子どもたち同士でノートの見せ合いをしたり、「どうやって書いた？」など、声をかけ合ったりする姿も見られるようになってきました。保護者の方からも「子どもがノートをていねいに書くようになってきた。」「自分からノートを見せてくれるようになってきた。」などという声も聞かれるようになってきました。

このような場面が様々な教科の学習や活動の場面で見られるようになり、共に学び共につながり、共に高まっていけるような集団になってくれれば良いと思っています。

7 子どもの感想

最後に、実際に「らくらくノート」を使用してきた子どもたちが感じていることを紹介させていただきます。

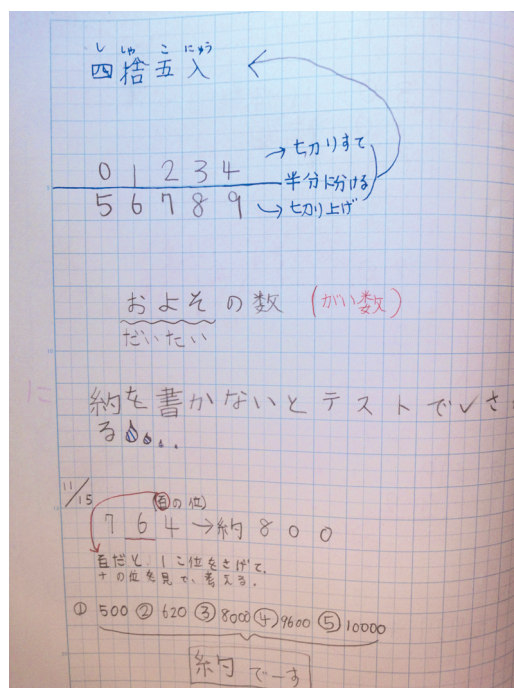
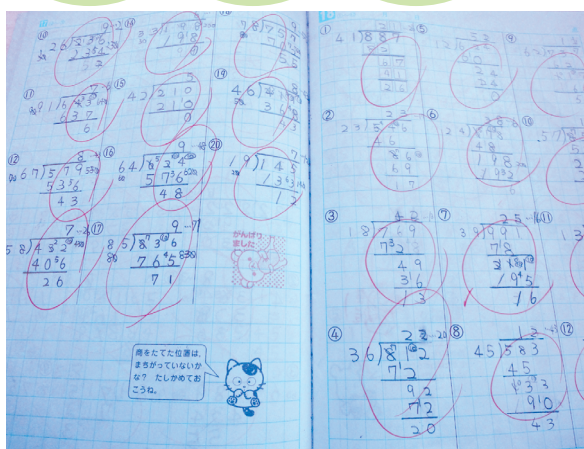
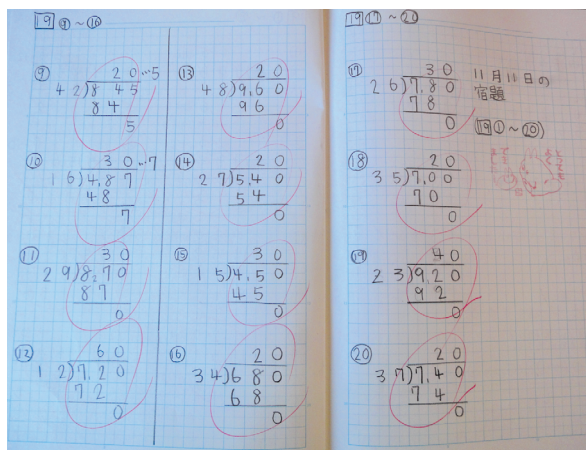
- 😊 ①～⑳とか、番号が書いてあってとても使いやすいし、式や答えを書く所があるから問題をときやすいです。
- 😊 犬のポチャねこのタマが、やりやすいやり方やヒントを教えてくれたから、全問正かいがふえてうれしかった。
- 😊 初めの1問がなぞるようになっていたので、書き方がよく分かりました。ま

た、マス目も勉強に合わせてちがうので、やりやすいです。

①と②の計算をする所がはなれているので、自分で丸つけをしている時も見やすくて便利です。

③らくらくノートに問題をやってきたことは、ノートの書き方練習になったと思います。算数ノートもすぐ見やすくなりました。算数ノートに書いたのをお母さんに見せたらほめられました。

④今までは、たてに書いたり横に書いたりしていて、自分で見直すときに見にくかったけど、らくらくノートを使って書き方を勉強して自分で書いたノートが見やすくなった。



(22年度までの教材を使った実践例です。)

